



糸東小だより

9月号 No.5



令和5年9月21日

やさしく かしく たくましく

校長 岩月高峰



2学期が始まりました！ みんな元気です。

8月25日(金)から2学期が始まりました。休み中、大きな事故やけが、病気の報告もなく、全員が無事に2学期を迎えることができました。うれしいことです。ありがとうございました。

2学期当初は、暑い日が続き、学校では暑さ指数を常に計測し、グラウンドや体育館での運動を制限しながら、子どもたちの安全を守ることを最優先にして学習活動を進めています。最近は、ようやく暑さも少し落ち着き様々な活動ができるようになっており、糸東小まつりに向かって動き始めています。2学期もどうぞよろしくお願いたします。

ドロシー氏の言葉

右の詩は、ドロシー・ロー・ノルトというアメリカの家庭教育学者の方がつくった「子ども」という詩です。スウェーデンの中学校の社会科の教科書に収録されているそうです。

私が教師になりたての頃、叔母にドロシー氏のことを初めて聞きました。以後も教育現場で何度も登場してきます。その内容は今でも子育てにおいてとても重要なことだと思っています。とても有名な詩なので、ご存じの方も多いと思いますが、参考になればと思い、紹介させていただきました。

そして、ドロシー氏は次のようにも仰っています。「子育てには愛が一番大切だということです。」「子育てには愛が一番大切だということは誰でもわかっていることではありますが、がむしゃらに愛を振りかざすと、バランスを失ってしまうものです。」

ドロシー氏の“3A”という考え方です。

Accept (アクセプト) : ありのままを受け入れる

Appreciation (アプリシエーション) : その子の存在に感謝する

Affection (アフェクション) : 大切だと思う気持ち

「ここにコミュニケーションが加わると、子どもの成長には最適の、絶対の「愛」というものになるのです。」 (『別冊PHP』2000年10月号より)

「そこに愛はあるんか？」というフレーズをよく耳にしますが、そこには、本当はすごく深い意味があるのですね。

批判ばかりされた子どもは、非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは、力に頼ることをおぼえる
笑いものにされた子どもは、物を言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは、鈍い良心の持ち主となる
しかし激励を受けた子どもは、自信をおぼえる
寛容に出会った子どもは、忍耐をおぼえる
賞賛を受けた子どもは、評価することをおぼえる
フェアプレーを経験した子どもは、公正をおぼえる
友情を知る子どもは、親切をおぼえる
安心を経験した子どもは、信頼をおぼえる
かわいがられ、抱きしめられた子どもは、
世界中の愛情を感じ取ることをおぼえる

アルミ缶回収の途中経過

昨年度の学校だよりで次のような表現をしています。「今月(9月)は、44,400円となり、25万円を超えました。」このようにすごいペースであることを驚き、伝えていました。今年は、8月で**25万9,420円**となりました。保護者や地域のみなさんに消費はもちろん、その後のご足労(水洗い・仕分け・学校への搬入等)をいただいているおかげです。本当にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

持久走大会を延期しました

すでにお知らせしましたとおり、持久走大会を延期させていただきました。今年の異常な暑さから、2学期当初は先述のような対応をせざるを得ませんでした。持久走大会も、9月26日(火)では、練習時も当日も暑さによって子どもたちの安全が脅かされるような状況です。そこで、10月24日(火)に変更させていただきました。ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。持久走は、練習時の頑張りが結果(自分自身の記録の伸び)に出やすい運動です。暑さの心配なく練習に取り組み、当日は、晴天の元、成果を発揮してほしいと願っています。

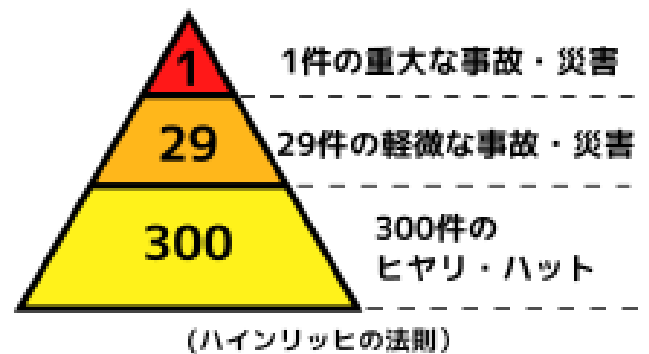
「ハインリッヒの法則」と「ヒヤリハット」

「ハインリッヒの法則」や「ヒヤリハット」という言葉を聞いたことはありませんか。「ハインリッヒの法則」とは、アメリカの損害保険会社に勤めていたハインリッヒが、5000件以上の事故の調査を経て提唱した労働災害における経験則で、「1:29:300の法則」とも呼ばれます。

現在、ハインリッヒの法則は「事故・災害防止のためのバイブル」として世界中に広まっており、日本国内においても官公庁や企業、医療機関などさまざまな分野で活用されています。

その内容は、「1件の重大事故の背後には29件の軽微な事故があり、さらにその背後には300件の異常が存在する」というもので、この300件の異常こそが「ヒヤリハット」です。

つまりハインリッヒの法則は、ヒヤリハットを「事故にならなくて一安心」で終わらせず、その経験を活かしてヒヤリハットの再発防止に努めることが、軽微な事故、ひいては重大事故を未然に防ぐために重要であるということになります。



時々、子どもたちの危険な自転車の乗り方について、学校に情報が寄せられます。また、ヘルメットを着用していない子もたくさんいます。先日の報道で、新潟県のヘルメット着用率が2.4%で全国最下位でした。(全国平均13.4%) 交通ルールを守って安全な乗り方をするのはもちろん、ヘルメットの着用についてもご家庭で話題にしてください。29の軽微な事故もヘルメットをしていなかったら、重大事故になるかもしれません。万が一の事ですが、「ヘルメットをかぶっていたら、無事だったのに…」という後悔のないよう、大人も子どもも着用を努めましょう。よろしく願いいたします。



親子で学校ピカピカ「1 いいね」

まんべんなく校地内をきれいにしていただいたことが分かります

この活動も今夏で4年目を迎えました。この取組のよいところは、①親子・家族の絆を強めることができる。②都合のよい時間帯にできる。③手軽に短時間でできる。④何回でもできる。⑤記録が残せる。などたくさんあります。仕事内容も「草取り」「ゴミや石拾い」「ガラス拭き」「クモの巣取り」「壁磨き」など親子で考えて



取り組みます。今年の夏はとても暑かったのですが、例年になく大変だったと思います。ご協力ありがとうございました。



令和5年8月25日（金） 始業式での教頭の話（趣旨を変えずに一部省略しています）

皆さん、おはようございます。夏休み中に、テレビや新聞で、交通事故や水の事故の話聞くたびにドキドキしてしまいましたが、皆さんが元気に登校してくれて幸せです。

さて、2学期の始まりに、1つの言葉を紹介します。それは、「みんな違ってみんないい」という言葉です。聞いたことがあるという人も多いと思います。2学期は、持久走大会、6年生が参加する親善陸上大会、そしてみんなが楽しみにしている糸東小まつりなど、いろいろな行事があります。また、その間にもたくさんの勉強をしていきます。たとえ苦手なことがあっても、自分に自信がもてなくても、自分を責めたり、恥ずかしがったりしないでください。それと同じで、自分と趣味や考え方が違う友だちや自分より苦手なことがある友だちを笑ったりバカにしたり、からかったりしないでください。これは、絶対に守らなくてはなりません。一人ひとりが自分の目標に向かって、一生懸命取り組んでいきましょう。

最後に新型コロナウイルスのことです。新型コロナウイルス感染症は、いつ、だれがかかるかわかりません。実は、今日みんなに会えることをとても楽しみにしていた校長先生は、今週新型コロナウイルスに感染しました。熱が出たり、喉が痛くなったり、とても辛い思いをされて、病気とたたかっています。来週には、校長先生は病気に打ち勝ち、学校へ来られます。その時には、是非みんなの笑顔と夏休みのお話などをたくさん届けてください。

2学期が始まったのに、まだまだ暑い日が続いています。熱中症にならないよう、水分補給をしたり、涼しい教室で過ごしたりしていきましょう。みんなが、健康で笑顔いっぱい毎日学校へ来てくれることを楽しみにしています。これで、お話を終わります

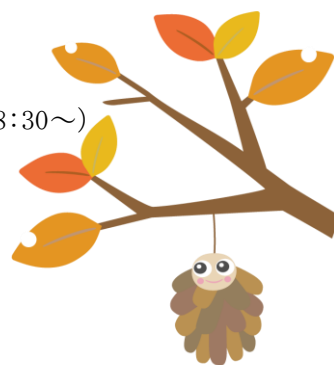
お知らせ「新潟県教育の日について」（県HPより）

新潟県教育の日に関する条例（令和4年12月27日公布、同日施行）が制定されました。

これは、県民一人一人が教育の重要性を認識し、教育のあり方を考える契機として「新潟県教育の日」を定め、県の責務並びに学校、家庭及び地域住民その他の関係者の役割を定めることにより、県民が生涯にわたって学び、その学んだことを社会で生かすことができる教育環境の整備の推進を図り、もって持続可能な社会の実現に資することを目的として制定されたものです。本条例制定により、11月1日が「新潟県教育の日」、11月が本条例の目的を達成するための施策を重点的に実施する期間である「新潟県教育月間」となります。

10月の予定

- 10月3日(火) 全校集会(校長講話) PTA協賛事業弁当販売部会(18:30~)
- 4日(水) 糸中出前授業【ガイダンス】(6年生)
- 5日(木) クラブ⑥(感謝の手紙) 市自然体験・科学研究発表会
- 6日(金) 歯科検診(13:30~)
- 10日(火) PTA広報部会(18:30~)
- 11日(水) メディアコントロールデー
- 12日(木) 委員会⑨
- 13日(金) ステージ発表リハーサル1~3限 前日準備(18:30~)
- 14日(土) 糸東小まつり ステージ発表 8:40~11:00**
PTA協賛事業 12:40~14:00
- 16日(月) 振替休業日
- 17日(火) QU検査
- 19日(木) クラブ⑦(最終)
- 20日(金) わかくさ班ふれあいタイム 4年生親子活動
- 23日(月) 教育相談週間(~27日) PTA広報部会(18:30~)
- 24日(火) 持久走大会
- 25日(水) メディアコントロールデー 持久走大会予備日
- 27日(金) 糸中出前授業【理科】(6年生)
- 30日(月) 校内研究授業(3年2組)



8月21日(月)の未明から発熱し、コロナに感染しました。月曜の朝は簡易検査でも医者での検査(車中)でも、陰性でした。夏風邪かなと思ひ、薬をもらって様子を見ることにしましたが、医者「2~3日熱が下がらず、再検査で陽性となる人もいます。」という言葉のとおり、水曜日に陽性が確定しました。しっかり5日間高熱が続き、後半からは、熱と咳と喉の痛みで食事も思うように取れず、大変でした。4キロ痩せました。もう二度と罹りたくありません。ただ、どこでもらったか心当たりがありません。お盆中も飲み会はなかったし、人混みへ出かけたこともありません。やはり、これからも注意が必要だと痛感しました。

学校へ復帰した時は、子どもたちから優しい言葉をたくさんかけてもらいました。「大丈夫ですか」「私もなったことあるよ」「俺も2回なった」などなど。うれしくなりました。コロナも5月8日から5類となり、インフルエンザと同様の扱いとなっていますが、人によって症状が違います。倦怠感や疲れやすさが残るなどすっきりと治らない人も多いようです。子どもたちの健康管理、そしてご自身の健康にも十分ご注意ください。2学期もよろしくお願ひいたします。



時々、各教室の授業の様子を見て回ります。私に気付くと、手を振る子や会釈する子、「こんにちは」「おはようございます」などと挨拶する子など様々です。どの子にも共通して言えるのは、授業の邪魔にならないような配慮があるということです。会釈や振る手は、遠慮がちに小さめです。挨拶は、それをきっかけにみんなの挨拶につながりますが、授業の中断にはなりません。また、すぐに集中できています。挨拶って気持ちいいね!(・v・)イイね!!